



あだいに☆

113号

令和7年1月30日

編集発行：男鹿潟上南秋医師会 <http://oknmed.jp>
〒010-0101 秋田県潟上市天王字追分西4-30-E ☎(018)872-1022 ☎(018)872-1021



目次

特集1 巳年に思う

- ・憂鬱な巳年 近藤克幸 … 2
- ・干支会員の近況報告 健康不安の還暦と愛犬たち 大腰雅俊 … 3
- ・早生まれの年男 成田裕一郎 … 4

特集2 立ち読みができない!

- ・本と私 萱場 恵 … 5
- ・本を読む文化の凋落 三浦一樹 … 6
- ・子供たちの本屋さん 越川静和 … 7
- ・書店という「特別な場所」 渡部久美子 … 8
- ・意地の張り合い 妹尾春樹 … 9
- ・「メラビアン法則」～「ジャケ買い」は正しい! 齊藤 崇 … 10
- ・通学与書店 奈良育美 … 11
- ・立ち読み 鈴木寿明 … 12
- ・読書遍歴 肥田野文夫 … 13
- ・「丘の上の本屋さん」～映画に見る書店の役割～ 佐々木康雄 … 14

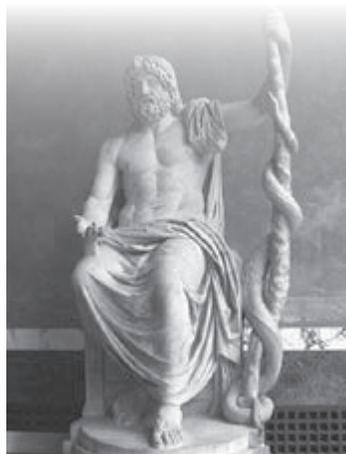
- 会長レター③① 2024年も終わります 佐々木範明 … 15
- 理事会 …… 16
- 2024年 忘年会 …… 17
- ワンポイントアドバイス③② …… 18
児玉 亮 先生
- 医聖祭 …… 20
- 生涯教育講座 …… 21
小澤政豊 先生 / 伊藤博彰 先生
- 今年は良い年になりますかね 大窪天三幸 … 24
- ダムと洪水 大窪天三幸 … 25
- ウィーン (Vienna) に行ってきました。 田村千夏 … 26
- 今日の診察室から⑥① 柴田暢介 … 27
- ナイトキャップ …… 28
- 編集後記 …… 29
- 表紙説明 …… 30

特集1

巳年に思う



今年は巳年。巳といえば死者をも蘇らせたギリシャ神話の医神アスクレピオスとその杖に巻きつくヘビ。世界保健機関WHOのマーク、日本医師会の医の倫理の象徴として医師には馴染み深い。還暦を迎えた会員3名から原稿を頂いた。



アスクレピオスと杖のヘビ

憂鬱な巳年

藤原記念病院（潟上市）

近藤 克幸



巳年生まれの私に「干支にちなんだ話題を」と依頼をいただいたのですが、気の利いた話題が思い浮かびません。と言うか思い浮かべたくないのです。干支であるヘビが…実は大の苦手なんです。

私はつい最近まで岩手の衣川にある診療所に勤めていました。衣川は山あり川ありの自然

豊かな山村。見たことのない昆虫が家の壁に止まっていたり、リスが庭を走り回ったり、玄関先でタヌキがウロウロしていることも日常茶飯事でした。熊の出没は少々恐怖でしたが、そこは最近の秋田も似たような状況で…いずれにしても自然に囲まれて自宅の庭で採れた野菜を食べる生活は気に入ってまし

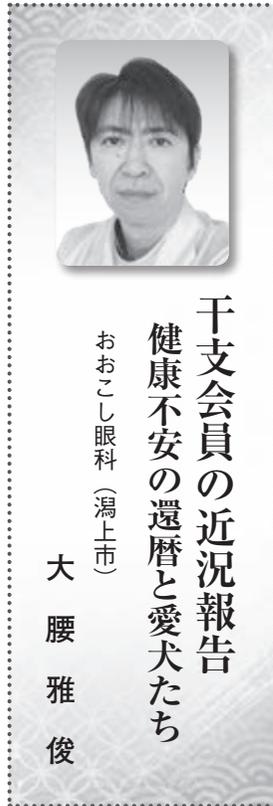
た。

ただ一つ残念なのは、そう、ヘビです。ドライブ好きな私にとって夏場の運転は試練でした。衣川の暮らしは買い物ひとつでも車で数十分。そんな貴重な移動手段である車ですが、道路には「難敵」が潜んでいます。衣川では、夏になると道路にやたらとヘビが出没します。ドライブ好きな私にとっては試練でした。道路のヒビだと思っ

日々が続くうち、「またか」と諦める余裕が出てきましたが、決して好きになつたわけではありません。あくまで「うんざり」に慣れただけです。そんなヘビとの付き合いも、この夏、秋田に戻ったことで終わりを迎えました。が、「やっとうねうね」とオサラバできる！と喜んだのもつかの間、私を待ち受けていたのは巳年にちなんだ「ヘビの置物」。陶器や木彫りのかわいらしいヘビがあちこちのお店で私を見つめているではありませんか。縁起物であることは分かっています。幸運の象徴だとも聞きます。でも、私にとっては十二年に一度の「勘弁してほしい」光景です。せっかくの機会なので、どうして干支にヘビがいるのか調べてみたら、いくつか説があるようです。昔は「ヘビ」のことを「へみ」と言っていて、そこから「巳（み）」に結びついたとか、「巳」という字が、植物が実を結び始める時期を指すので、再

生を象徴するヘビが選ばれたとか。うーん、納得できるような、できないような話です。せっかくなら別の動物にしてくれたら良かったのに…。

とはいえ、巳年には「変化」や「再生」といった前向きなテーマがあるとのこと。嫌がってばかりいないで、今年は新しいことに挑戦する良い機会と捉えてみようかな、と思う今日の頃です。



干支会員の近況報告 健康不安の還暦と愛犬たち

おおこし眼科（潟上市）

大 腰 雅 俊

つきなみですが年月の経つのは早いもので、巳年生まれの方は既に5回も年男を経験することになってしまいました。今年で60歳です。

唯一の趣味のゴルフは最近曲がり越来越少なり日々の特訓の

最後に余談ですが「ネコはネ

ズミにだまされて十二支に入れなかつたのでネズミを追いかけようになつた」とは良く聞きますが、「だまされて遅れたらお釈迦様から、顔を洗つて出直して来い」と怒られたのでよく顔を洗うようになつた」と言う話は初めて知りました。そんなことを思い浮かべながら猫を見ていると、ちよつと微笑ましい気持ちになりますね。

成果かと自賛するも何のことはない、年々飛距離が落ちてきたために曲がり幅が少なくなつただけという落ち。中学から大学までかじつていたテニスなんて走り回つたらいつ心停止が起るかかわからない恐怖もあり全く

ご無沙汰です。お風呂に入る時の寒暖差によるヒートショックもいつ起きてもおかしくないと思つていたら歌手の中山美穂さんの訃報。改めて現実に起こりうる危険を実感しています。タバコは40歳でやめたおかげでそれまで出ていた不整脈は感じなくなりました。

自分は近視が強く眼鏡とコンタクトレンズを愛用しています。が、強度近視に伴う眼合併症の危険を人並み以上に知っているための恐怖があります。

何をするにも健康第一でしようが、昼の外食や毎晩の晩酌は自分に甘く、なかなか減らすのが難しいです。

約半年前、十数年飼つていたトイプードルが亡くなつてしまいました。仕事から帰宅するといつもそばにいて、私が晩酌でソファに寝落ちしてしまうと横でずっと待っていました。あまりに遅くまでソファで寝てしまふとベッドで寝るよう起こされます。夜は私の布団に入つてき

て私の左脇の下で一緒に寝ていました。私は世話をしているつもりでしたが妻からは介護犬のようだと言われていました。小さい頃から不整脈のあつた犬でしたが最後は食欲がなくなり亡くなつてしまいました。悲しい別れでしたが死に際に立ち会えたことは幸いでした。とても賢い犬でたくさん思い出を作ってくれて感謝しています。

つい最近、新たなトイプード



冬の角館

ルを迎え入れました。まだ生後2カ月位なのでやんちゃなだけで何も考えていない風です。健康で長生きしてくれるのが一番

ですが、次の年男となる72歳までには新たな介護犬になっていてくれていることを密かに願っています。

早生まれの年男

南秋田整形外科医院（潟上市）

成 田 裕 一 郎



私は昭和40年2月13日生まれの年男です。0から4まで数字がそろっていて気に入っているのですが、幼少時には「自分は早生まれだからチビで勉強がでさなくて体操も下手で、足も遅いんだ」と思っていました。今になって周りを見渡すと早生まれで体格の大きい人はいくらでもいるのに、子供のころはなんでも自分がだめなのは「早生まれのせい」にしていた気がしません。社会に出てからは、同級生に比べて年をとるのが少し遅いのがなんとなく得をしたような

気分になることもありました。が、この年になるともはや5年前後の年の差は見た目も区別がつかなくなつて（?）、勝手に「同世代だべ!」ということにさせて頂いております。ネットで「60歳」と入力して見てみると、「人生の重要な節目であり、生き方を考える貴重なタイミングである」というような文言がたくさん並んでいきます。でも「いざ自分が」となると、59歳と61歳の間というだけで特別に何かを変えるものでもないなという気がしています。

25歳で整形外科医になり35歳で中通総合病院に赴任してからひたすら救急医療を中心に22年間走り続けて、4年前にご縁を頂いて南秋田整形外科医院に参りました。人生の節目を「還暦」と呼ぶならば、私にとつての還暦は4年前だったかもしれませぬ。一大決心をして環境を大きく変え、日々さまざまな想定外の出来事に驚き悩みながら過ごしておりますが、救急に追われていた頃よりは精神的・肉体的負荷は軽減されたと感じます。幸いスタッフにも恵まれ、「先生の顔を見に来ました」と言つて下さる患者さんも多く、その笑顔に救われる頻度は総合病院時代よりも多くなつたかもしれませぬ。

仕事以外を顧みますと、3年前に父を見送り、85歳の母は盛岡で独居・自立してくれていますが、最近物忘れが進んでやや心配しているところです。長男は今年、某大学医学部を卒業して初期研修医として社会人の仲

間入り（国試に受ければ）で、次男は東京の某大学にやつと合格して元気に学生生活を送っています。子供たちの教育を含めた家のこと一切を任せつきりにしただけでなく、毎日手弁当を持たせてくれる家内には感謝で頭が上がりません。院長職で休みも十分にはとれませんが、せいぜいカミさん孝行しなくてはと思つています。許してくれないかもしれませぬが（笑）。

最近、自分の父が60歳の時、自身の人生をどんなふうか考え、私と弟にどう生きてほしいと思つていたのか、無性に知りたいと感じます。でも自分の息子たちには、「ただまっすぐ生きてほしい」という以外に伝えることはないような気がしています。ともあれ私自身も次の年男を迎えられるかわかりませんが、毎日をまっすぐに生きていきたいと思えます。とりとめもないお話にお付き合い頂き、ありがとうございます。

特集2 立ち読みができない！

過去20年間で全国の書店数半減と報道されました。読書人口の減、紙から電子書籍へ、注文は書店よりアマゾンが速い、出版過剰、再販制度や物流問題など事情は複雑なようです。ある大学の書店主は「街の本屋も立ち読みも知らずに子らは育ち、学生も研修医もろくに本を買わずに巣立っていく。これでいいのか」とぼやいていました。幼い頃から修養とされてきた読書とそれを支えてきた街の本屋さんの減少、会員の皆様はどうお考えでしょうか。



本と私

出戸診療所（潟上市）

萱場

恵

私にとって「本」というと文庫本です。電車や飛行機で学会・出張、旅行にいくときは必携です（30年以上前になります）。能代で仕事があり、朝早く

を読んでいて、二ツ井まで乗り越しご迷惑をかけたことがあります。入学した中学校にとっても聡明な女生徒がいました。何でも小学生で英検2級をとって来校さ



伊映画『丘の上の本屋さん』より

れた外国人の方の通訳をしたことがあると教えられました。彼女は休み時間も一人静かに本を読んでいます。それが文庫本でした。それまで、私の読書は学校の図書館から借りて読むものでしたからちよつとしたカルチャーショックでした（小学校で読んだ一番印象深い本は伝記『王貞治』です。現役選手でしたが、本が出版されていきました）。ミニチュアのようにかわいらしく見えるのに、字は小さく挿絵もなく「大人の本」を読む彼女がまぶしく見えたのを

今でも思い出します。それで眼鏡をかけるようになったのかしらとも思いました（ちなみに私の視力は2.0でした）。それから、私も本屋に行つて文庫をみるのが楽しみになりました。

そのころの岩波文庫はカバーがパラフィン紙、天アンカットという本の上部が不揃いで、背表紙に☆があり、一つ70円でした。星の数で価格がわかりました。他の出版社はカバーがあつたと思います。ミステリー、時代物、海外文学：ジャンルを問わず読んでいた気がします。『宮本武蔵』、『三国志』は夢中で読みました。名作と言われるものも読んだはずですが、情けないことに内容はほとんど覚えていません。

秋田に来たとき、広小路に「加賀谷書店」と「三浦書店」がありました。お客さんもそれなりにいたと思いますが、今はなくなりました。大手の書店が出店して品揃えが良くなったのは嬉しいことですが、地元の本

屋さんがなくなくなるのは寂しいです。手形に「丸善」の取次店もあつたような気がしますが、早々に姿がなくなりました。以前は店頭がないと注文で取り寄せてもらいましたが、今は通販で購入することが多くなりました。通販サイトでは、履歴からお薦めを提示してくるので、余計なお世話と思いつつも、ついついポチツツとしては「積んどく本」を増やしてしまいます。行く機会は減りましたが本屋

は大好きです。書店の方の作ったポップに誘われて手に取ることも多いです。児童書コーナーも覗きます。こどもが小さい頃に読んだ本の続編があつたり、QRコードで動画や音声が出る図鑑があつたりと懐かしさと時代の変化を感じています。電子書籍も一般的になつていますが、私にとっての本はやはり紙です。これからも読み続けたいですが、視力の衰えが不安なこの頃です。



本を読む文化の凋落

藤原記念病院（潟上市）

三浦一樹

雑然と積み重なった本棚に一番古くからあつたのはたぶん『ランボー詩集』だと思う。ベトナム戦争勃発のころ汽車通学の高校生だった。秋田駅近くに

しては大きな本屋さんで何気なくこの本に目にし、少し立ち読みしてその中の「いちばん高い塔の歌」に心惹かれた。「束縛されて手も足も出ない虚ろな青春。（中略）ああ、心

がただ一筋に打ちこめるそんな時代は、ふたたび来ないものか？」

この本が欲しいと思ったがお金が足りない。節約してまた本屋さんに行き、ちよつと迷つてその時はやめ、3度目にどうしても手元に置いて読みたい気持ちから購入したのだった。今でもその本が置かれていた書店の書棚までを覚えているような、その本棚の前をウロウロしている自分を監視カメラで視ているような気がしてくる。しかしこの書店もかなり前になくなり居酒屋に代わっていた。この詩集には、若いランボーの苦悩や、それを理解し言葉を練つてその思いを伝えるべく翻訳した金子光晴の感性、この本を世に送り出し多くの人に読んで欲しいと願う出版社と編集担当者、さらには書棚の目につきやすい所に展示してくれた書店の想いが詰まっていた。そして50数年以上も本棚から見え隠れに微かな光を放っていたことだろう。折々

にこの本を見開く度に新たな感慨が湧きあがるのだつた。

ところでこの本にとどまらず、書物というものは、華厳経のインドラの網目の宝珠のように、それぞれが離れていてもお互いに感応して光を放ち続けているものようだ。曼荼羅的でもある。小難しいことを好む向き（例えば自分）にはリゾームを想像するのも面白い。要は一つを知つて多くの繋がりを感受する。そのためアンテナを立てて新しい出会いがありそうな



森吉山阿仁スキー場（1月19日）

わくわく感で書店を訪れるのだが、残念ながら期待外れの事が多い。本が少ないのではない、多すぎるのだ。

現在、秋田駅前には二つの大きな書店がある。近隣の多くの本屋さんを薙ぎ払うようにして、大きなビルの高い階に広大な面積を占有し、さながら開架式図書館の様相だ。かつてはこの町にもあったあの本屋さんたちはコンパクトに充実し、いろいろな本や付録満載の子供雑誌までがキラキラ輝くように展示されて華やきがあった。小一時間もあれば店内を二巡り位できて、買いたくなる本も必ずあったものだ。昨今の大きな書店にはそのときめきがない。本に巡り会うという喜びが広大な空間で希釈されてしまっている。店内には人影もまばらだ。発達しすぎたネット社会と過剰な物流環境においては、本を読まないといわれる若者でなくとも、わざわざ書店に足を運ぶ楽しみがなくなってしまう

いる。50年くらい昔、野坂昭如が「この世はもうじきおしまいだ（マリリン・モンロー・ノーリターン）」と唄っていたが、シヤレにならないくらい現実味



子供たちの本屋さん

男鹿加藤診療所（男鹿市）

越川 静 和

を帯びているこの頃、書店、本屋が消えていくという「本を読む」という文化の凋落」は実は大型書店の内側からすでに始まっていたのだった。

本屋さんには家族で良く行きます。出かけると、本屋さん行く？ こどもたちに聞かれます。本屋さんでは家族7人、それぞれに興味のある本を吟味します。越川家のルールか、夫のポリシーか、本については糸目

をつけてません。漫画もOKです。居間の本はどんどん増える一方です。こどもたちはテレビもゲームも時間制限があるので、そのほかの時間は本を広げていることが多いです。特に長女は朝起きるとソファにどんと

座り、近くにあった本を手に取り、朝ご飯を待ちます。小学生向けの小説から、学習系の本、漫画まで多岐に渡り、目を通しています。男鹿線に子供たちで乗るときにも、秋田までの



越川家のお嬢さん

道中にと本を持っていく子です。長男次男は、もっぱら漫画ですが、本に親しんでいる姿は良いものです。本を読んでいるときは、呼びかけても返事をしません。次女、三女は「よんでー！」と絵本や紙芝居もつてきます。私は家事で忙しいことも多いのですが、夫は家のことや自分のことをしていても、必ず「いいよ」とやさしく快諾し、胡坐のなかで本を読み聞かせします。本当にいつでも本を読んであげるのです。とても素晴らしいことだなとも思っています。もともと本好きの夫、自然体でそれができていることを尊敬します。こどもに「あとで」はないんだよね…と毎回反省の私です。そんなこんなで越川家は本だらけです。夫が買いそろえた参考書やワークもこっそり並べているのですが、小学生チームは一向に興味はないようです（笑）。

本屋さんの思い出といえば…。小学生のころですが、登校

たちが次々と興味のある本を手
に取っていく姿を見ると少し羨
ましく感じることもあります。

書店はただ本を売っている場
所ではなく、人々がそれぞれの
人生に新しい視点や知識、物語
を見つげに来る場所です。夫に
とつての書店は、仕事で疲れた
心をリフレッシュする場であ
り、好奇心を刺激する場所。子
どもたちにとつては、自分の世
界を広げる宝探しの冒険の場
所。私にとつても、彼らのそう
した姿を見ることで、書店の新
しい魅力に気づく時間となつて
います。

最近では、書店でふと興味を
引かれる本があれば、私も手に
取るようになりました。夫ほど
の「つまみ食い」はしませんが、
少しずつ自分のペースで本を楽
しめるようになってきた気がし
ます。書店で過ごす時間は、そ
れぞれの向き合い方で本と出会
い、日常の忙しさから少しだけ
解放される贅沢なひとときです。
今も夫の積読の山で雪崩が起

きていますが、家族みんなが書
店で自分の「何か」を見つけて
くる光景を眺めていると、やっ
ぱり書店って素敵な場所だなと
しみじみ思います。



意地の張り合い

老人保健施設 くらかけの里（潟上市）

妹 尾 春 樹

以上、ChatGPTさんに書いてもらいました。ちょっとだけ直していますが、我が家の状況や私の気持ちまでわかって書いてくれるなんてすごいですね、生成AI。

子供の時から本が好きでし
た。晴れた日には狭い庭の小さ
な池でザリガニを釣って漬し
て、飼っているニワトリに餌と
して与えたり、オジギソウをい
じったりし、天気が悪いと一日
中家で本を読んでいました。兄
たちの不用になった教科書（表
紙はボロボロ）を見るのは楽し
みでした。

中学に上がると電車通学を始
めました。利用する私鉄の駅の
こちら側には新刊を扱う書店が

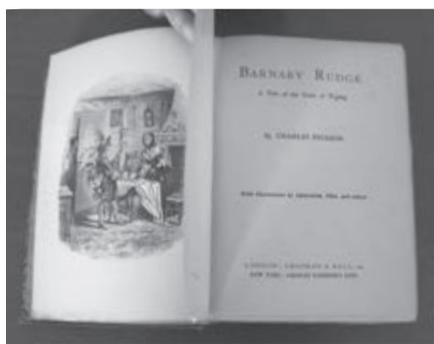
あり、向こう側には小さな古書
店があり、しばしば立ち寄るよ
うになりました。新刊書店では
いつも奥さんが座っていて中学
生の私に「姦通ってどういうこ
と？」とか質問してきます。そ
れで店の国語辞書を開いて「こ
こにこう書いてありますよ」な
んで答えたことを覚えています。

大学院を修了して、ノル
ウェー、オスロ大学医学部に家
族一緒に2年間留学しました。

土曜日は研究室が休みで、まだ
小さかった三女を背負ってオス
ロの街の書店／古書店巡りをし
ました。主に求めたのはナンセ
ンやアムンゼン、極地探検の本
です。帰国後にホッキョクグマ
の肝星細胞（ビタミンA貯蔵細
胞：いわゆるクッパー細胞とは
まったく別の細胞です）の北極
圏での国際共同研究を考えてい
ましたから。

ノルウェーには蚤の市（Iop
pemarked, lopp
eは蚤、markedはマー
ケット、を意味します）があり
ます。これは学校でクラブ活動
をお世話する人たちが企画／実
行していました。地域の人たち
が不用になった服や食器、靴、
書籍などを無償で提供し、その
売り上げでクラブ活動を支えて
いるというものでした。ここに
も三女をおんぶしてよく出かけ
ました。19世紀に出版された
ディケンズ（因みに「ピック
ウィック症候群」の名は彼の作
品に由来します）の全集21巻を

千円くらいで入手したこともあり
ります(写真←はその第9巻、
『バーナビー・ラッジ』です)。



バーナビー・ラッジ

以前は出張の多い生活で、そ
ういう機会には時間を見つけて
書店／古書店巡りをしました。
それで、頭の中にある街街の地
図は書店／古書店のある場所が
メルクマールになっています。
マンハッタンで一番好きな場所
はブロードウェイにあるストラ
ンド古書店です。何時間でも過
ごしてしまいます(写真↓はそ
こで販売しているトートバッグ
で、使いやすい丈夫です)。

東京で好きな古書店街は神田

と早稲田です。

大学院(お茶の水と駿河台)
では副科目で肝臓から分離・培
養した前述の肝星細胞(ビタミ
ンA貯蔵細胞)が合成・分泌す
るコラーゲンの分析を電気泳動
でしてしました。試料をアプ
ライしてしまえば2時間くらいは
暇ですから、神田の書店街をブ
ラブラするのは楽しみでした。
またある時早稲田のある古書店
に入ると奥から、私と同世代の
男性がびっしりと本が並んでい
る棚を見ながらゆっくりとここ
らに近づいてきます。二人は店
の真ん中あたりの岩波文庫の並
ぶ棚のところで停止し、肩と肩
が触れなんとする距離で互いに
場所を譲らず、意味もなく文庫
の背中を見つつ並んで立ってい
たのです。



ストランドの
トートバック

本屋さんで楽しいのは、出会
い頭に何やら心惹かれてつい手
に取りたくなる、読みたいと思
える本に出会うことだが、いつ
の間にか書籍はオンライン書店
で求めたりタブレット端末で電
子書籍を読む時代になった。オ
ンラインでも本との「出会い」
は不可能ではないが、やはり手
にとつて表紙カバーや「帯」を
眺め、開いた際の活字の佇まい
やページの手触りを確かめると
いう感覚は著しく欠ける。同じ
ように音楽もレコード屋さん
ではなくストリーミングやダ
ウンロードで聴く時代になっ
たが、思い起こせば本と同じ
で、レコード店で演奏者も曲も
知らないのに何故かジャケット

に惹かれ、いわゆる「ジャケ買
い」したのは少しドキドキする
楽しかった思い出だ。もちろ
ん「ハズレ」はあるが好みの
ものにヒットすることも多く、
本でもレコードでも今も手放せ
ない「My Favorites」
はそうやって手に入れたものも
多く、「ジャケ買い」は案外正し
い! と思っていた。だって新
しいものに手を出さない限り世
界は拡がらない! 加えて、本
やレコードでは「帯」も大事だ。
帯の惹句も第一印象に大いにあ
ずかり、何しろ手にとつてもら
うところから始まる訳だから制
作側はずいぶん頭を絞るんだら
う。
そういえば最近あまり聞か



「メラビアン」の法則」
「ジャケ買い」は正しい!

藤原記念病院(濁上市)
地域医療人材教育研修センター

齊藤 崇

くなつたが、その昔、「腰巻大賞」というものがあつた。限られたスペースに最小限の情報と初めて見る人の興味・関心を惹きつける凝縮した言葉が必要な訳だから、担当編集者の腕の見せ所なんだろう、そして「帯」からは実はどういう対象を想定しているのかも垣間見えて興味深い。古本でも中古レコードでも「帯」がないと価値が大幅に毀損されるといふのも大いに納得できる。



ナンバーバル（問答無用）の裸参り
（1月1日 八郎湯町）

「ジャケ買い」で連想した言い回しに「第一印象は正しい」というのがある。長く研修医教育を担当し、いわゆる「コミュニケーション・イン・スキル」に関するワークショップを企画したりその方面の達人の講演を幾度か拝聴する機会があり、この第一印象云々は「メラビアンの法則」と云うことを知った。要するに「人は見た目が9割」とい

うことらしい。ただし、人の印象はその人間が話した言葉の内容（verbal）だけでなく、話す際の表情や声のトーン、あるいは姿勢、仕草などnon-verbalな要素が実は重要で、それらが判断に与える影響は9割以上だという。むろん、その判断が必ずしも100%正しい訳では無く「正答率」は6〜7割にとどまるとのこと。演

技、化粧、衣装、あるいは時に「悪意」を含むフェイクもあり得るからだ。そんなことを思い出して、ここ数年お会いしていないが、プロフェッショナルとしての「医療人」はせめて「癒やし人」として「振る舞う」ことの大事さを教えてくれていると感じた「研修の神様」、尊師・寺澤秀一先生の顔が浮かんだ。



通学と書店
小玉医院（湯上市）
奈良育美

2021年4月より湯上市の小玉医院で勤務させて頂いております。奈良育美と申します。小玉医院に勤めて約4年となりますが、何とか業務にも慣れ日々過ごさせて頂いています。これからも地元の医療に貢献できる

よう頑張りたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。今から約四半世紀前、高校生であった私は、実家の追分から秋田市にある学校まで電車と自転車を駆使して通学しておりま

した。当時の秋田駅前は今と違いお店が全くなく、また携帯電話も出始めの頃であったため高校生のほとんどは持つておらず、電車が遅れたり止まったりすると皆時間をつぶすのに苦労していました。しかし私は大喜びで、ひたすら本屋さんで立ち読み（主に漫画）をしていました。現在、秋田駅トピコ内に「ジュピター」というコーヒー・輸入食品のお店がありますが、当時は「ブックスささき」とい

う本屋さんがありました。今よりゆるい時代でしたので、本にカバーもかかっておらず店員さんも何も言わず、それはもう読み放題でした。本が好きな私にとつてはまさにパラダイスです。店のすみずみまで片っ端から読みまくり（自己ベストとしては1時間でコミックス10冊読んだことがあります）、本来は電車待ちの時間つぶしのはずだったのに逆に電車を逃し、結局2時間後に帰宅するという本末転倒な事態に何度も陥っていました。高校生だったので帰宅後ばつちり両親に叱られました。

弁明すると、立ち読みだけでなくきちんと気に入った本は購入し、さらに興味のなかったジャンルも読んでみたらハマって購入していたので、お店の売り上げには少しは貢献できたと思っていたのですが…。私の努力が足りなかったのか、「ブックささき」は2020年10月に創業約70年の歴史に幕を下ろ

しました。秋田駅構内にある唯一の本屋さんだったので、利用される方は多かったと思いましたが、これも時代の流れなのでしょう。

確かに今は電子書籍の発展によりインターネット経由で欲しい本はすぐ手に入り、そもそも娯楽がたくさんあるため本に括らずとも余暇を楽しむことが出来ます。けれどもあの電車待ちの立ち読み時間は、学業に励んでいた私にとって誰にも邪魔されず読書に没頭できる貴重な時間でした。今でもお店のあったところを通ると、とてもなつかしくあたたかい気持ちになります。何事もコスパ・タイパが重視される昨今ですが、あえて非効率ながら自分のペースで読み進められる紙媒体の本を手にとってみてはいかがでしょう。以上、アナログ派のいち意見としてお聞き流し頂けたら幸いです。



立ち読み

男鹿みなと市民病院（男鹿市）

鈴木寿明

さて、書店というお題を頂きましたがあいにく読書家でもなく特段の思い出もあるわけではありませんでした。夏休みの読書研究という謎の課題にはいつも最後に手を焼いていた記憶しかありません。強いて挙げれば、お金がなく一日500円で生活していた予備校時代（その頃の吉野家の牛丼並は280円）、ブックオフで中古小説が100円から売っており、コスパが良いものだと予備校までの電車移動の時間つぶしに丁度良かったことくらいでした。その頃はスマホなんて存在しておらず、電車の中では寝ている人や雑誌や小説を読んでいる人がほとんどでした。

そんな読書不精の私ですが、

予備校からの帰りにちよつとした書店がありまして時々立ち寄ることがありました。バイクや車、熱帯魚など興味のある雑誌を眺めていましたが、思い返すと書店という独特の雰囲気は結構好きだったのかもしれない。かすかに聞こえる有線のBGMから好きなアーティストが流れた時は嬉しくなり、周りの目を気にしながら口ずさんでまいります。2、3冊と長いこと時間をつぶしていた時は、誰かが入店した時のきしんだ足音が外を見るよりも鮮明に天気を教えてくれます。ある時は、隣で立ち読みしている会社員が雑誌を置いた後、自分が次に読みたかった本を手取るかもしれないと思いつつ他の雑誌を上

置いてみたりと変な駆け引きもありました。自分が一人に浸れる時間ではありませんが、いつのまにか書店という空間の一部になつたような不思議な感覚になることがあります。ページを捲り、些細な動きの一つ一つで自分もその空間を作る音のひとつになつていたことを感じます。その頃からあつという間に約

20年が過ぎました。吉野家の牛丼は値上げされ460円となり昔なら特盛が食べられた値段になつていました(胃袋的には並盛りでも十分になつてしまいました)。電車に乗って乗客を観察してみると雑誌や小説を読む人はいなくなり、8割くらいの人はスマホで動画を見たり音楽を聴いたりゲームをしたりして

います。スマホで漫画や小説、雑誌も読める便利な生活になり、ブックオフやツタヤがどんどん閉店している中、書店もやはり減り続けています。生活を楽しむコンテンツが移り変わっている流れは加速度的にはやくなっていくように感じます。

新しいものは刺激的です。でも過去に楽しんでいたものには思い入れがあります。本と触れる機会が少なくなること、電子化が進むこと自体の良し悪しを語る気はありませんが、なくなりつつあるものから感じていた経験や思い出は確かに残っており、ふとした時に思い出して楽しむことができるのは、その時代を生きた特権みたいなものではないでしょうか。



読書遍歴

杉山病院 (潟上市)

肥田野 文夫

父は6年前96歳でなくなりま

(現J.R)で退職しました。

した。大正生まれなので、大東亜戦争で中国戦線を転戦して生き残り、昭和23年復員していません。そういう時代ですから、最初に頑張つて努力すればいい人生を生きられる、はずはなく、頭のいい人でしたが国鉄

生活は貧乏でしたが、なか本ばかりは大量にあり、当然、当時はテレビゲームなどないし、余暇といえば本を読むくらいしかありません。小学校は『暮しの手帖』(花森安治編集)の食品・商品テストに凝り(当

時評価の低かったハウスパーメントカラーは今でも食べませんし、ゼネラル(現富士通)の電気製品は使いません)、お菓子の作り方で卵白を泡立ててスポンジケーキやゼラチンを戻してゼリーを作つたりがとても楽しかった記憶があります。

水酸化ナトリウムと硫酸を混ぜたら天井まで噴き上がり危うく失明するところでした。世界の文学全集は『戦争と平和』『罪と罰』『大地』などたくさん読みましたが、『カラマーゾフの兄弟』と『チボール家の人々』だけは長過ぎて挫折、大体世界文学はなんで人名がこんなに多いのでしょうか。

戦前の少年科学雑誌には危険な(?)実験が載っており、貝殻を砕いて加熱して酸化カルシウムを作り、硫黄(中学校の理科室から調達)を混ぜて「るつぽ」でガスコンロで熱し、夜光塗料の作成をこころみて失敗、

父は自分で戦争体験を書いたくらいで戦争雑誌『丸』や戦記・戦史物、東条英機や山本五十六の解説本が積んであり、偉い人たちの決断がいかに愚かか(人

間はいかにバカか)を中学卒業までに骨にしみるまで自分に叩き込みました。

高校はマンガの全盛期で『巨人の星』『あしたのジョー』が筆頭ですが成人になって山上下ひこの『がきデカ』(全27巻)に出会い、人生の価値観がひっくり返る勢いで大げさですが何百回も読み直し(何巻の何ページに何が書いてあるかすべてわかる)、人生すべて容貌と知能(人を構成する3要素のうち一つの「人格」はほとんど評価の対象にされない)なのを悟り、自分を偽らず適当に思うように生きて他人からどう思われようと一切気にせず(本音で生きたら100%嫌われる)、きれいごとは全部デタラメと決めつけて残りの人生を潰すことにしました。

「もうダメかと思った」↓「何でその時にあきらめないのだ」「こまわり君(主人公)は春が来ても不細工なのね」↓「あんたらはなくきれいな顔してう

れしいやろ。そやけどわいはな(泣)」などがすぐに脳裏に浮びます。

その後、福本伸行『カイジ』(ここ数年は全然ダメ)『銀と金』『アカギ』にも出会い、人は裏切りと嘘と金にまみれているのを再確認して肝に銘じ続け今に至ります。最近も読書傾向が偏り過ぎ、過去の卓越する著者、山本七平、山本夏彦、倉橋由美子らを読み返してさらに養老孟司、里見清一、橘玲も暗記するほどはまっています。

ちなみに、知性と美貌は両立しないようで、美人の読書家には運良く出会ったことがありません。イケメンの有名人に「ワー」とか「キヤー」とかの方がそれらしいですね。私は女性蔑視でも男尊女卑でもありません(むしろ崇拜)が、男女で向き不向きはあるでしょう。人の行動に建前や理屈や平等などないのです。



『丘の上の本屋さん』
映画に見る書店の役割
ハートインクリニック(潟上市)
佐々木 康雄

イタリア映画『丘の上の本屋さん』の原題は「幸せの権利」とやや硬い。イタリア半島中部山間の丘にある小さな古書店が舞台だ。石造りの街は佇まいも周囲の山々も美しい。店を営むリベロ爺さんと西アフリカのブルキナファソから6年前にやってきた移民少年エシエンの交流を映画は丁寧に描く。

次々貸す爺さんはある日「もう漫画は卒業」といい『ピノキオの冒険』を渡す。翌日返しに来た少年は猫とキツネに騙されたピノキオをなじる。「無知に付け込むのはいいことかな」と爺さんはいい「人を騙すのは大抵愉快な感じの連中だ。感じの良さは騙すための武器なんだ」と次に『イソップ物語』を貸す。

店には隣のカフェの若者、ゴミ箱で拾った本を持ち込む男、女主人の使いでコミックを求める家政婦らが次々訪れる。手元になくなった自分の著作を探す教授は「ページをめくる感触を味わいたい。せめて紙の匂いを嗅ぎたい」と嘆く。

イソップを返しに来た少年に爺さんは、この物語を作ったの



犬と肉の寓話
パウル・デ・フォス (ブラド美術館)

は君と同じ肌色の人だといひ、橋の上で肉をくわえた犬が水に映った自分に吠えて肉を落とす話の感想を問う。もっと注意すべきだと少年がいうと、欲深さを戒めているのではないかなと爺さんはいひ「本は2回読む。1回目は理解するため、2回目は考えるために」と微笑む。

店には発禁本の棚がある。ガリレオ、マキャベリ、デカメロン、ボヴァリー夫人、ダーウィン…。爺さんはオルゴールを流しながら持ち込み男が残した若い女性の日記を読んでいる。彼との初めての夜のこと…。

サンテグジュペリの『星の

王子さま』を読んだ少年は、王子さまはどうやって地球へ来たのかと爺さんに問う。何でも説明が必要とは限らない。肝心なのは何をしたかだ：「大人は誰でもはじめは子供だった。そのことを忘れないでいる大人はいくらもない」という一節を読み聞かせ、「象をのみ込んだへビの絵」「大人はみな帽子だと思つた」と2人は頷きあう。

持病のある爺さんは店をカフェの若者に頼んで病院へ行く。病状は今一つらしい。戻つた彼に少年は「僕は医者になるつもりだ」といふ。爺さんは、薬も何もないアフリカの医療に生涯を捧げた人だよと『密林の医師 シュバイツァー』を渡す。

ある日、少年は発禁本の棚に目をやり、あそこの本はいつ読めるのかと尋ねる。顔色が良くない爺さんは「もう少し大きくなつたら。君には時間がたっぷりある」といい青い表紙の本を贈り物だ。退屈かもしれないが

しっかり読んでほしい。君の人生の助けになる」

書店のドアに「喪中のため閉店」の看板が下がった。カフェの若者が少年に爺さんの手紙を渡す。「店の本が処分される前に君が好きなだけ持ち出せるようにしてある。遠慮するな」人

間に最も大切なのは幸せになる権利だ。愛をこめて。リベロ」

青表紙の本は1948年『世界人権宣言』パリ。「人は皆自由で平等に尊厳と権利を有し…」映画は原作者マッシモの言葉「本に囲まれた家で私を育てた両親へ捧げる」で幕を閉じる。



会長レター

31

2024年も

終わります

佐々木医院 (潟上市)

佐々木 範明



今年最後のレターを書く時期になりました。毎年この最後の原稿の時は1年を振り返ってあれこれ考えるせいか、元々遅い筆がいつも以上に遅くなり毎回締め切りに間に合いません。昨年仕事納めの後に書くつもりが遅れに遅れ年が明けてしまつたところ、1月1日には能登半

島地震、2日には羽田での海上保安庁とJAL航空機事故。原稿手直しが必要になってしまいました。いつまでも続くイスラエルからパレスチナへの攻撃、長引く一方のウクライナとロシアの紛争、あまりいい年にはならないような波乱の幕開けだったような気がします。ですが、

2019年から今までの新型コロナノ感染も落ち着き、コロナに振り回された年月を考えると、悪い年ではなかったなあと思える1年でした。

皆さんにとって今年の重大ニュースは何でしたか？ 能登半島の地震と水害、新紙幣発行、大谷選手の活躍、パリオリンピックのメダルラッシュ、秋田では熊出没が頻発したことでしようか。我々医療従事者が気になった今年のニュースは、一般に報道される重大ニュースとは少し異なっています。

紅麹サブリで健康被害を受けた方々はその後どうなったのでしょうか。回復して健康になっていることを祈ります。医師の働き方改革で内科専攻医の過労自殺のような不幸な事件は起こらなくなると思いますが、勤務時間短縮による若い医師の研修不足は大丈夫か。昔の「ゆとり教育」と子供たちの学力低下と同じ関係にならないか心配です。研修が嫌いな若手は手っ取り早く稼げる美容医療に流れてし

まって…。医薬品供給不足に国は手を打ち始めていますが「やる気あるのか！」と怒りたくなるくらい現実と乖離しています。人件費・物価高、原材料費高騰の現在、薬価＝医薬品の公定価格は下げられる。国民の健康に寄与するという矜持を持つて頑張る医薬品メーカーとして製造すればするほど赤字になる商品が製造し続けることは出来るはずがない。おかしいですよね。

仕事納めが終わると院内のカレンダーを新しくします。ほとんどアマゾンから購入していますが、いくつかは土崎の小さな本屋さんから毎年購入していました。今年も買いに行ったら何と閉店して倉庫になっていました。こうして小さな本屋さんは無くなっていくのでしょうか。仕方なく今年は全部で15冊のカレンダーをアマゾンで購入しました。まとめて送ってくれて良いのにアマゾンは準備できた分から随時送ってくるので宅配のお兄さんが何度も家にやってきます。雪の日などは雪まみれに

なって玄関に来てくれて、いつも申し訳ないと思います。町の本屋さんが生き残る方法の一つとして、アマゾンに注文、本屋で受け取る、送料は割引…なんというのでしょうか。

さて、自家の白柴ケンシン、全身冬毛に覆われ、モフモフ、触って頂きたいところです。雪

の中、寒さ知らずに元気いっぱい走り回り一緒に遊ぶのもクタクタです。



ケンシン君

理事会

範明会長から会長会議報告。

10月12日(土)の中央医学会への協力で感謝。当日は秋田市内各ホテルで種々医学会や会議が多く参加者数が心配だったが、想像以上にご参集頂いた。

マイナカードを厚労省は断じて引つ込める気はなく、利用率の低い医療機関は上げるよう促すというが、噂のペナルティまではなさそう。だが今後も紙保険証廃止や電子処方箋と電カルなど事実上の強制が続く。

10月22日(火) 19時

ブルーメツセ昭和

人口急減に伴う医療機関と介護施設の職員減、利用者減も秋田では現実化してきた。そのため病院どうしの協力による法人化、かかりつけ医の推進など課題が次々浮上してくる。

人口減少率最悪の秋田に風力発電会社などが激増し産業医不足も深刻。増やそうと掛け声は勇ましいものの新規取得も更新も受講の機会少なく、秋田大では抽選のため当たらないと仙台へ行く必要があるなど矛盾だらけ。以上。

2024年

男鹿潟上南秋医師会の忘年会

せきクリニック（潟上市）

関 仁 史

令和6年11月30日ANAクラウンプラザホテル秋田にて男鹿潟上南秋医師会忘年会が開催されました。毎年、忘年会の日は天候が荒れます。今年も風が強く寒い日でした。今回は総勢23



名の参加があり昨年より盛会となりました。参加者は以下の通りでした（敬称略）。

佐々木範明（佐々木医院）、白山公幸・齊藤崇・近藤克幸（藤原記念病院）、千葉裕一（千葉医院）、神田仁（神田医院）、児玉光（児玉内科医院）、田村広美（たむら船越クリニック）、吉田賢志（よしだ内科クリニック）、斎藤晴樹（湖東老健）、猪股良之（杉



関仁史



長谷川幸弘先生

山病院）、成田裕一郎（南秋田整形外科）、木村圭介・今野則和・関啓二・秋元正年・鈴木寿明・下間信彦（男鹿みなと市民病院）、長谷川幸弘（長谷川医院）、坪井純（たらちね）、小野塚直也（小玉医院）、小林顕（ほのほの苑）、関仁史（せきクリニック）。
会は佐々木範明会長の次のあいさつで始まりました。

「今年の忘年会も悪天候になりましたが、皆さんが早めに来場してくれてうれしい限りです。個人的なことですが、医薬品不足もあり当院は院内処方から院外処方に変更しました。必要な薬が手に入らないのは国の医薬品行政に問題があるからではないか。マイナ保険証もどこの医療機関も対応に苦慮している。保険証の変更が早すぎるのではないか、などが立つことが多いですが、この忘年会でその憂さを晴らしましょう」
続いて長谷川先生の乾杯の挨拶。「今年6月からの生活習慣病同意書の扱いには皆さん苦労されていると思います。自分は

今までいろいろな研修会などに参加してきたが、1度休むと次々欠席となってしまうのではないか、人生全て生活習慣と考え、なるべく参加するようにしている。今日は由利本荘市で開催された肺病読影研修会に参加してきた。今年から由利組合病院では肺病読影AIシステムが導入されたようだが、まだ診断に利用するには不十分な点もあるようでした。では皆さんのご健勝を祈念してかんぱい！」

今回は個人的な所感を掲載することに否定的な意見もあったことから、全員の所感の掲載は省略させていただきました。今年最大の出来事として皆さんが共通して話していたのは、6月に開始となった生活習慣病の同意書などの書類作成、マイナバーの件、電子処方箋などに対する対応の件でした。特に今年12月からはマイナンバーカードの使用が義務化されたことから患者さんの中には従来の保険証は使えなくなっただけで、捨ててしまった人がいるなどのトラブ

ルが多くあるようです。とにかく医療関係の物事の変化が急でついていけないとの意見が多くみられました。また7月に藤原記念病院へ赴任され今回新たに医師会に入会された近藤先生からは、もともとへき地医療をやるうと思ひ医師になった、これからこの地で頑張っていきたいとお話がありました。男鹿みなと市民病院の下間先生は来年3月で院長を退職し、以後も週4日は継続して働き、当直もこなすとのことで、病院を思う先生の気持ちが変わるお話でした。

会員の家庭内の話の中に、娘さんが父親である自分に態度が急に冷たくなったと悩む話がありました。態度の変化があまりに突然なので当惑しているようでした。しかし、これもまた特に女の子では自然の経過のようです。皆、大学生にもなると、お金目的かもしれないませんが、相手をしてくれるようになるので安心していいよとの意見が多数でした。範明会長の娘さんは来年医師になり秋田厚生医療セン

ターで初期研修を受ける予定のようですが、以前から指摘されている自分の紹介状が手書きで読みにくいことに今後どう対処するか悩んでいる様子でした。画家でもある小林先生は、自由美術賞、平和賞と並ぶ三賞の一つで画家おみ光の名を冠したおみ光賞を今年受賞されました。小林先生は一番気色悪い賞と語っていましたが、母子をテーマにしたすばらしい作品のようです。長谷川先生は、自分は毎年わらび座の公演を見ているが、わらび座は財政的に厳しく大劇場の修理もままならない、できれば皆さんにわらび座への寄付をお願いしたいと話されました。寄付の窓口など詳細は長谷川先生にお問い合わせてください。

会員の皆さんからの今年一年の所感の話が終わり、中締めのお挨拶を例年のごとく神田先生にお願いしました。所感の中で神田先生は、私は10年単位で生きている、医師になって大学にいたのが10年間、山形に赴任したのも10年間。秋田に戻ってきて

医師会の副会長を10年間、会長を10年間つとめ現在会長をやめて8年半経過した、あと1年半は頑張るとお話しされ、「来年もこの中で1名も欠けることなく、いい年にしましょう」と一

本締めで忘年会は閉会となりました。神田先生はこのホテルのデザート生クリームがとってもおいしくて幸せであったとお話しされており幹事としてはうれしい限りでした。

ワンポイント アドバイス ③⑧

おらほの先生から一言



ご指南役

児玉医院 歯科 児玉 亮先生



歯科医院の閉鎖と転医について

質問

かかりつけの歯科医から、うちは閉鎖するので他を紹介するといわれて受診した医院も近く閉鎖すると聞いてあ然としました。マイナ保険証の話と一緒に色々なクリニックの撤退を耳にします。原因と患者側の対策について教えてください。

1 歯科医院の閉鎖について

- ① 収入の減少。人口減で患者数は減り、医療材料や光熱費の高騰では希望が持てない。
- ② 歯科医の高齢化と健康問題。種々持病を持つ歯科医が多く平均年齢も60歳を超えた。
- ③ 後継者の不在。子が歯科医でもよそで働いていて戻る気がないケースもある。
- ④ 職員確保が困難。スタッフの高齢化、早期退職者も多い。



医聖祭で拝んだヒポクラテスの掛け軸

伝えしている。
② 通院中の知人から情報を得るのもよい。

- ③ 歯科医の選択。ネットや近所の評判を参考に判断する。ただ対人関係は評判だけでは判断が難しい。一度試しに受診し、話しやすさ(相性のよさ)など人柄の観察が大事。例えば「どういう治療が必要なのか相談に来た」と話し、質問に丁寧に答えてくれるか、かかりつけ医としてふさわしいか値踏みしておきたい。
- ④ 個人的に親しく或いは腕が良くて対話など診療内容に疑問があればかかりつけ医としてはふさわしくないかも。
- ⑤ 器材や施設の老朽化。新しい器材が次々登場し、ポンコツの補修や買い替えが困難。
- ⑥ DX問題。医療機関の10%がマイナ保険証に反発または対応不可など電子化の遅れ。
- ⑦ 自然災害で被災した医療機関は秋田県の豪雨被害でもそうだが、器材の新規購入や借金返済など復興の負担が大。

編集長の求めでやや厳しい蛇足)

- 2 患者側の対応について
- ① 秋田県歯科医師会館に問い合わせれば最寄りの歯科医院を紹介し、郡市歯科医師会では専門科などの詳しい情報をお

中高年の歯科疾患で重要なのは歯周病である。歯科医は歯周病と判断すると①歯石除去②歯面研磨③徹底的な歯ブラシ指導に進む。だがそれで治ると思っ

周病専門医でさえ進行したら外科的処置の程度。それでダメなら抜歯、インプラントとなる。では、歯周病は専門の歯科医でも「治せない」といわれ、厚生労働省も「治癒を求めない」としか思えない点数を算定しているのはなぜか？
それは、歯周病の本体を理解していない歯科医が多く、進行状態を把握せず、適切な歯ブラシ方法を指導せず歯科衛生士まかせだからである。
歯科衛生士は、残念ながらそのような訓練はされておらず判断する眼も持たない。歯科衛生士に歯ブラシ指導の丸投げでは治る歯周病も治らない。
アドバイス。歯周病の進行状態を頻繁にチェックしてくれる歯科医を選ぶ。残念ながらそんな歯科医院は秋田にはほとんどない。治療現場を見られればいいがそんな機会は皆無。患者の話をよく聞いてくれる歯科医院が現時点ではベストか。

次のナマハゲと老人の写真と文は加藤隆悦氏(友人のライター&カメラマン)より頂きました。

「ヨメの母親がまだ存命だった10年ほど前の大晦日の実家。このころの義母は既にほぼ寝たきりの日々だったけれども、当家の事情をよく知っているなまはげさんは、わざわざ義母の寝室まで立ち寄ってくれて、ダミ声で『来年もまだ来るがらそれまで元気でいれよ!』と、義母を激励してくれたのでした。義母も嬉しそうにしていました」



なまはげと老人 (加藤隆悦)

医聖祭

1月11日
午後4時半

美富士
(八郎湯駅前)



挨拶する佐々木範明会長

正月恒例の湖東医和会「医聖祭」に医歯薬3師会19名が出席。神田仁先生の音頭でヒポクラテスと神農の掛軸に2札2拍手1札、米、塩、御神酒を頂き1年間の医療安全を祈願した。続く新年会は医師会を代表し

範明会長の挨拶で始まった。巳年のへビは弁財天の使者としておめでたいのだがと前置きし、国は医師・開業医偏在対策として2年後から医院密集地では夜間や救急診療など地域に不足するタイプの開業以外は制限し、無視すると保険医登録抹消や氏名公表など罰を与える案もあるようだとアメよりムチの強硬な政策に懸念を示した。

歯科医師会代表の鷺谷一晴先生は、患者に喜ばれると嬉しい仕事も好きだから医院を続けているが、今や歯科医の平均年齢は62・5歳と一般企業なら半分以上は定年、同級生もかなり廃業した、国は歯科医師不足を否定するが関西関東に多いだけで秋田など田舎は少なく、また22年7月の水害では医療機器など被害甚大で激甚災害に相当す



鷺谷一晴先生

ると考え申請書類を10回も提出したが1年半過ぎても国と県の反応はなし、怒りを覚えるものの住民の健康を守るという使命感で働いていると述べた。

薬剤師会を代表し宇杉尚子先生が乾杯の挨拶。何年も前から薬不足で大変だった所へ昨年10月から後発医薬品が半強制となつて不足に拍車がかかり、患者さんへの説明や医療機関への連絡などで超多忙、加えて電子化もよく分からない、ふだん処方箋でしかつながないの先生方と直に会えるのを楽しみに参加したと結んで乾杯。

神田先生の一言挨拶。後期高齢者の免許更新には厄介な認知テストがあり、大学同期らの話だと試験は難しく16個の記憶問



宇杉尚子先生

題すべてに正解しようとせず最低4個覚えるといいようだ。また彼らの賀状にはこう書いてあった。デジタルについて行けないので医院をやめた、国は老いた医師を一扫する気か、一方で直美ちよみという卒業研修2年直後に美容整形を目指す医師が2%もいる現実、老医師をもっと大事にするよう医師会のお偉方は国に訴えるべき。

他の一言から。薬剤不足で大変な上に閉鎖する薬局もあり日々大混乱。古希を迎えた途端に糖尿病と判明したが多忙で入院もできず好きな酒をやめ患者の気持ちが始めて分かった。関東出身の薬剤師先生は雪景色の美しさに感動。各地を放浪し昨年やっと買い物に至便な大久保

のスーパー近くに居を構えたと
ころ何と昨日、倒産閉鎖、衝撃
を受けた、この店に歩いて通
う老人ら大久保の住民はみな
シヨックだろう。体調崩したら
患者さんからお大事にと言われ
医師会報の名称が身に染みた。
弘前大卒後に能代ジェイコー病
院に勤務し数年前から小玉医院
で院長をしているが、まだ週2
回ジェイコーで麻酔やオペをし
ているかつてのスキー小僧。

締めは薬科の佐藤友紀先生。
「元旦に私も参加した一日市の
裸参りは全国ネットで放映され
る。裸の余勢を駆って寒風山で
拜んだ初日の出のような清々し
い年になるよう祈念して乾杯」
今年も大いに盛り上がり、勢い
で二次会へ多数流れた。児玉亮
先生の写真に感謝。



神田明神 憤るに政医



▶(前列右から) 佐々木康雄、児
玉亮、鷲谷一晴、佐々木範明、宇
杉尚子、千葉裕一
(中列右から) 斎藤勇樹、石井秀彦、
橋下徹、鈴木貴美子、神田仁、武
藤哲貞
(後列右から) 畑澤美雪、小野塚直
也、秋元康宏、阿部良之助、和知
光、宮澤秀哉

男鹿潟上南秋医師会

生涯教育講座

「CKD診療の地域連携と最新のガイドラ
インを踏まえた腎性貧血治療について」



秋田厚生医療センター
腎臓内科科長、透析センター長
小澤 政 豊 先生

日時▶令和6年9月26日
場所▶ZOOMを介したオンライン講演会

腎疾患において、臨床経過に
よる病名・臨床診断による病名・
病理学的病名などによらず、腎
機能が低下した際に共通して現
れる症状を、疾患横断的にまと
めた概念としてCKD（慢性腎
臓病）が提唱された。具体的に
は、蛋白尿や血尿などの検尿異
常、腎萎縮や多発性嚢胞腎など



森吉山のモンスターたち
(樹氷)

の画像所見の異常、Cre値や
eGFRの低下などの検査異常



冬の山林(北秋田市)

があればまとめてCKDとして早期診断・早期治療を可能にした。

2023年にCKD診療ガイドラインが改定された。

まずは、一定の腎機能の低下、具体的には1〜3年間で血清Cre値の倍化、eGFR40%もしくは30%の低下や、5・0 ml/分/1・73 m²/年を超えるeGFRの低下は、末期腎不全に至ることを予測する因子として挙げられている。また、RA系阻害薬とSGLT2阻害薬投与初期のeGFR低下が、3か月以内に30%以上の場合は、腎臓専門医に紹介することが推奨されている。

次に、糖尿病腎症に対して腎保護作用が期待できるACE阻害薬/ARBの投与は、糖尿病合併の有無ではなく、蛋白尿の有無を参考に検討することが推奨さ

れている。

さらに、尿アルブミンが増加することで末期腎不全や透析導入のリスクが有意に増加することから、糖尿病性腎臓病(DKD)患者に対しては、定期的な尿アルブミン測定が強く推奨されている。また、DKD患者に対しては、腎予後の改善と心血管疾患発症抑制が期待されるため、SGLT2阻害薬の投与が推奨されている。

一方、腎性貧血についてはHb13g/dl以上を目指さないこと、目標Hbの下限値は10g/dlを目安とし、個々の症例のQOLや背景因子、病態に応じて判断することが推奨されてい

る。

腎不全は、腎前性、腎性、腎後性の三つに大きく分類される。薬物・補液治療で対応する腎前性腎不全、腎生検やステロイド治療、場合によっては血液透析などの専門治療を要する腎性腎不全、泌尿器科的な治療を要する腎後性腎不全の三つを鑑別し、腎性腎不全の場合には腎臓専門医へコンサルトして頂きたい。

75才未満でeGFR35未満は



禁書コーナー(映画『丘の上の本屋さん』より)

腎代替療法導入のリスクが高い。臨床経過でその領域にかかることが予想される方は一度、腎臓専門医へ紹介頂きたい。腎代替療法イコール血液透析、ではなく腹膜透析や腎移植などの選択肢を患者へ提案することが重要である。いずれにしても腎代替療法導入には助走の期間が必要である。落ち着いた状態で患者が治療法を選択できることは透析を続けていくうえで非常に重要である。理想的にはCre値5・0での内シャント作成、その後、患者の症状に応じて透析導入に移行することが軟着陸するためのポイントではないかと考えている。そのうえで、タイミングを逃さないコンサルトをお願いしたい。

腎臓内科領域の最新治療として、HIF-1P阻害剤の登場により、腎性貧血治療がさらに大きく進歩した。それと同時に患者のQOL、生命予後、腎予後も同様に改善されている。

「便秘症に対する漢方治療の戦略」



あい内科クリニック 日の出

院長 伊藤 博 彰 先生

日時 ▼ 令和6年11月20日

場所 ▼ ZOOMを介したオンライン講演会

主として便秘に使用する漢方薬はいろいろあるが、今日は、潤腸湯、麻子仁丸、桃核承気湯、防風通聖散、大柴胡湯、大黃甘草湯、桂枝加芍薬大黃湯、大建中湯（小建中湯）について話す。潤腸湯の適応症は便秘で、生薬10種が配合され、大黃、甘草は排便を促進し、枳実、杏仁、桃仁、麻子仁などの植物の脂肪で便を軟化させる。これらの生薬の良い所は、決して軟化させ過ぎないことである。

身体が潤いがない高齢者で、腸管運動の低下のために硬便で便秘となっている状態の方、施設での寝たきりの高齢者などに適している。桃核承気湯の適応症は、比較的体力があり、のぼせて便秘しがちなものの次の諸症。月経不順、月経困難症、月経時や産後の精神不安、腰痛、便秘、高血圧随伴症状（頭痛、めまい、肩こり）で、5種の生薬が配合され、大黃、甘草、芒硝と最強の下剤が入っている。流産の危険性があるため、絶対に妊婦には投与すべきではない。防風通聖散の適応症は、腹部

に皮下脂肪が多く、便秘がちなものの次の諸症。高血圧の随伴症状（どろき、肩こり、のぼせ）、肥満症、むくみ、便秘で18種類の生薬が配合されている。明らかに必要栄養量を超えるカロリー摂取をしているものに対し、代謝を改善して肥満を改善する。便秘に対する作用は弱い。

大柴胡湯の適応症は、比較的体力のある人で、便秘がち、上腹部が張って苦しく、耳鳴り、肩こりなどを伴うものの次の諸症。胆石症、胆のう炎、黄疸、肝機能障害、高血圧症、脳溢血、じんましん、胃酸過多症、急性胃腸カタル、悪心嘔吐、食欲不振、痔疾、糖尿病、ノイローゼ、不眠症で、8種の生薬が配合されている。ストレス状態からの暴飲暴食および便秘に対して、ストレスを緩和させ精神を安定させて、暴飲暴食を減少させる。大黃甘草湯の適応症は便秘症で、大黃と甘草の2つの生薬の

みである。速効性を求めるならまず大黃甘草湯から処方する。桂枝加芍薬大黃湯の適応症は、比較的体力のない人で腹部膨満し、腸内の停滞感あるいは腹痛などを伴うものの次の諸症。急性腸炎、大腸カタル、常習便秘、宿便、しぶり腹で6種の生薬が配合されている。下剤使用時に一番懸念されている腹痛に対し、芍薬甘草湯＋大黃をベースにした漢方薬で一番人気である。大建中湯の適応症は、腹が冷えて痛み、腹部膨満感のあるもので、4種の生薬が配合されている。直接的な下剤効果はないが、腹痛や腹部膨満に対し下剤のアシストとして使う。小建中湯の適応症は、体質虚弱で疲れやすく、血色がすぐれず、腹痛、動悸、手足のほてり、冷え、頻尿や多尿のいずれかを伴う次の諸症。小児虚弱体質、疲労倦怠、神経質、慢性胃腸炎、小児夜尿症、夜泣きで、6種の生薬が配合されている。冷えを

改善して運動促進させることで
症状の改善を得る（直接的下剤
ではない）。効果がマイルドで、
小児・高齢者向きである。

漢方には味証というものがあ
る。味証とは、漢方薬を処方す
るときに味見をしてもらい相性
を調べる方法で、味見して悪く
ない反応が出ていたら、その漢
方を飲みたがっている病態、状
態であると判断する。

漢方医学は人をみて人に対し
て薬を出すものであり、下剤一
つにしても、ただ症状だけをみ
て出すのではなく、その患者さ
んのバックグラウンドも見たう
えで処方することが、治療の成
功につながると思う。



吉田賢志記者



今年が良い年になりますかね

大窪胃腸科内科医院（五城目町）

大窪 天三幸

新年明けましておめでとうご
ざいます。

昨年末、シリア革命。サダト
大統領は恋人ブーチン露大統領
の元へ。騙されてひどい目に遭
わないといいが、でもないか
。わが日本も理路整然・結論
不明の石破首相と不倫の国民
主党の玉木代表コンビに騙され
ないように注意が必要ですね。

さてマイナンバーカードのこ
とですが、患者さん本人は自分
の処方薬や診療内容をどうやっ
て確認するんでしょうね。薬局
や医療施設は設備があれば簡単
に検索できますが、患者さん本
人も機械の購入が必要でしょう
か。個人情報盗まれた場合の
確認はどうするのでしょうか。そ
の責任は政府が負うのか、医療

機関が負うのか、政府得意の自
己責任か。心もとない。

我々のところではまだ一度も
マイナンバー使用例はありません
。対策はあります。どうなる
ことかただ傍観することです。
結局マイナンバーカードと保険
証の併用になると思いますが、
みなさんはどう思いますか。

コロナとインフルエンザが増
えているようです。私のところ
の出入り業者にコロナ・インフ
ルエンザ検査キットを注文し数
週間たちましたが、一向に連絡
が入らず、ようやく来たので事
情を聞いたら急ぐ医療機関を優
先しているとのことでした。誰
が優先順位を決めているかは分
かりませんでした。ところで、
検査は済んだとして肝心の薬は



怒りのオーム！
（秋田近代美術館のジブリ展より）

どうなっているでしょう。一般
的には胃が悪ければ胃の薬、血
圧が高ければ降圧剤を出します
が、コロナ感染症だと解熱剤の
み。この感覚が私には分からな
い。私がヤブ医者だとしても納
得できませんが、みなさんほど
う思いますか。年末12月26日の
AAB『池上彰のニュースそう
だったのか!!』で、マイナン
バーカードの利点だけを取り上
げ、手続きを急ぐようにとの発
言あり、取り巻きのタレントた
ちもうなずいていました。驚き
ました。正義の味方と書いてい
た評論家でしたが、彼も政府の
犬でしたか：残念。

年末、詐欺グループとそれに関連した被害者の側であるはずの荒稼ぎする偽（？）弁護士の記事が散見されました。今や政府をはじめ詐欺師グループに騙されないで一生を過ごすのは大変な時代です。ネットもWebもホームページも開設していませんが電波は使うので防ぎようがない。

風邪流行の季節です。発熱し

ダムと洪水

大窪胃腸科内科医院（五城目町）

大窪 天三幸

大雨注意報が出ると多くの患者さんから、もう一度同じような洪水が起こったらこの地域には住めないと聞きます。「五城目町では洪水対策会議を頻繁に開いているが、俺は被害が少ないのに何で呼ばれているんだ」と言う患者さんがいた。だが私は被害が大きいのに町から会議への要請は全くない。

たら、まずは一日フトンを何枚もかけ、シャツを何枚もかえるほど発汗することです。医療機関では解熱剤しか処方しませんから命がなんぼあっても足りませんね。命より経済優先、いい時代になりましたよ。ね、編集長？（御意。前号で原稿の掲載ミス、謹んでお詫びし、以下に掲載致します）

昨年のかんりの洪水被害者から上小阿仁村の萩形ダムの放流が洪水を拡大させた聞いた。私も五城目町役場から直接話を聞いたが、上小阿仁の萩形ダムから五城目町の杉沢発電所に大きな地下（？）水道を通し、発電しているようだった。しかし役場では昨年7月15日は町の杉沢発電所でも萩形ダムでの放流

はないと言っていた。私はネットをやっていないので元公務員の友人に調べてもらった。

令和5年第1回臨時会建設部提出資料（同年7月28日付）によると、五城目については河川氾濫発生日時15日15時40分、上小阿仁の萩形ダム緊急放流開始15日19時19分、終了17日9時45分であった。被害にあった住民の多くは15日17時過ぎに急に水かさが増え、20時過ぎ徐々に水は引いていったと言う。水がドツと溢れて、ドツと引いているのだ。すでに五城目町の中心が激しい洪水に見舞われている。最中にダムを放流したのか。私には結果的に放流の時期判断を誤ったために洪水が拡大したとしか思えない。

以前から馬場目川の底が浅いので危険だという住民の声があると聞いていた。河川工事の遅れが原因とも言える。県のデータを信じて、流行りの資料の改ざんがあったとしても、どこか辻褄が合わない。ダムの貯水量が溢れそうになり、上小阿仁の萩形ダムで7月15日19時にダム決壊を恐れて（？）放流したことが県のホームページに記載があったと印刷文書ももらった。これが本当なら15日17時には五城目のかんり広範囲に水が溢れていた訳で、そこへダムから放流があったとすれば洪水被害が拡大され、工事対策会議で問題にならないはずがない。今のところ問題提起は聞いていない。余談だが、ダムの発電により、県や町には東北電力から多額の買電料（？）が支払われていることもわかった。

政府が音頭をとるAI事業により世界の総電気使用量が今の2.3倍にもなり、エネルギー資源の争奪戦が始まり、大手商社やマイナカード普及でポロムうけのカード会社、コンピュータ会社が自民党に寄付することは明らかである。ヤメラレナイ、トマラナイ、カップエビセンですね。

（2024年8月入稿）



黄金のホール

『サロメ』『コジ・ファン・トゥッテ』を観ました(残念ながら『白鳥の湖』は完売でした)。舞台

装置は大きかりな物にも拘わらずスムーズに展開されていましたし、舞台前のオーケストラ・ピットに所狭しと並んだオーケストラも舞台と一糸乱れぬ演奏で素晴らしいものでした。観覧席は1席に1台ずつモニターが設置されており、日本語や英語訳を読みながら鑑賞できましたので、歌の内容を理解でき最後まで楽しめました。娘の方は、オペラを時々観ながら、ヴァイオリンのスコアを読譜するという課題のもと、自分なりに頑張っていました。

とがある方も多いのではないのでしょうか。ウィーン・フィルのメンバーはオペラ座や楽友協会、その他教会などを行ったりきたりして演奏するので旅行中にウィーン・フィルの演奏を一日に何度も聴くことができました。宿泊はというと、交通の便が良いカグラン駅の目の前にあるアパートホテルでした。1階にスーパードがあり、部屋のキッチンには調理器具や食器類などが一式そろっていたので、食事は安価に抑えられました。ザッハホテルで、本場のザッハトルテ

「ウィーン・フィルを聴きに行こう」という娘の師匠からの誘いで昨年6月にオーストリアの首都ウィーンに行ってきました。娘とその付き添い役の私、娘の師匠(ウィーンに留学経験のあるヴァイオリニスト)、そ

の友人のヴァイオリニストの4人で行った5泊7日のウィーン旅行について書かせていただきます。ウィーン・フィルとは「ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団」の略で、クラシックを知らなくても一度は耳にしたことのある超有名なオーケストラです。音楽の都ウィーンの中心地にある豪華絢爛な「ウィーン国立歌劇場(オペラ座)」での演奏を仕事とする「ウィーン国立歌劇場管弦楽団」の団員のほとんどで構成され、自主運営されています。今回の旅行では、オペラ座で現代風にアレンジされたオペラ『サロメ』『コジ・ファン・トゥッテ』を観ました(残念ながら『白鳥の湖』は完売でした)。舞台

装置は大きかりな物にも拘わらずスムーズに展開されていましたし、舞台前のオーケストラ・ピットに所狭しと並んだオーケストラも舞台と一糸乱れぬ演奏で素晴らしいものでした。観覧席は1席に1台ずつモニターが設置されており、日本語や英語訳を読みながら鑑賞できましたので、歌の内容を理解でき最後まで楽しめました。娘の方は、オペラを時々観ながら、ヴァイオリンのスコアを読譜するという課題のもと、自分なりに頑張っていました。

とがある方も多いのではないのでしょうか。ウィーン・フィルのメンバーはオペラ座や楽友協会、その他教会などを行ったりきたりして演奏するので旅行中にウィーン・フィルの演奏を一日に何度も聴くことができました。宿泊はというと、交通の便が良いカグラン駅の目の前にあるアパートホテルでした。1階にスーパードがあり、部屋のキッチンには調理器具や食器類などが一式そろっていたので、食事は安価に抑えられました。ザッハホテルで、本場のザッハトルテ



ウィーン(Vienna)に行ってきました。

小玉医院(湯上市)

田村 千夏



シュニツェル

やウイーンの名物料理、豚肉を薄くのばして揚げたシユニッツェルなども堪能できました。個人的には先生お勧めの「グララーシェ」というシチュー風のハンガリー料理と、ウイーンに至る所で売っている生オレンジジュースが美味しかったです。

ウイーンは治安が良く、6月は午後9時頃に日が落ちるので、遅い時間でも買い物などもでき、大きなトラブルなく帰国できました。今回は娘のオマケでの旅行でしたが、貴重な体験ができました。音楽が好きな方はウイーン旅行おすすめです。

トビーフです（おせち料理ではないですが…）。伊達巻などは一見大変そうですが、卵焼きにひと手間加える程度でそれほど苦労はありません。フライパンで焼いた後にくるくる巻く工程は最初コツが必要でしたが慣れてしまえばなんとかなりました。伊達巻は特に子どもたちが喜んで食べてくれる一品です。黒豆は妻が担当します。きれいに黒光りさせてシワを作らないように煮るには、鉄を入れたり煮る作業を何回にも分けたりかなりの手間が必要ですが、うちは味さえ良ければいいのでこだわっていません。栗さんとんは滑らかなのが好きなので芋はフードプロセッサで念入りにすり潰しています。ローストビーフだけは少しこだわっていて、肉専用の温度計を使いスマホで庫内と肉内部の温度をモニターしながら最適な焼き上がりを目指しています。

は飽きたのかほとんど手伝ってくれなくなり寂しいです。おせちはあまり手作りするイメージはないかもしれませんが、実際やってみるとそれほど大変ではありません。少し手間をかけるだけで家庭ならではの味が楽しめるのでお正月のイベントの一つとしておすすめです。続いて最近の運動事情について。今まで私は筋トレ、ストレッチなどに取り組んでいましたが、最近是有酸素運動もするようになりました。寒くなる前は外でジョギングをしていましたが、冬場は屋内でしながら運動をしています。コンパクトなウォーキングマシンを購入し

今日の診察室から 61



おせち料理

男鹿みなと市民病院
(男鹿市)

柴田 暢介

前回の坪井先生からバトンを頂きました男鹿みなと市民病院整形外科の柴田です。原稿執筆は年末でしたので我が家のおせち料理について書きます。年末になると市販のおせちが

華やかに並ぶのを目にします。我が家では毎年おせちを手作りしています。市販品は便利で見たい目も美しいのですが、最近はおせちが高くて思いついて自作に挑戦したのがきっかけでした。料理が好きだったこともあり、意外と楽しく取り組んでいます。実際やってみると（こだわらなければ）そこまで難しいものではないです。特に家族と一緒に作る時間はお正月の良い思い出になるため、年末の恒例行事として定着しました。自分で作るおせちで定番となっていて、伊達巻、黒豆、栗さんとん、そしてロース

以前は子供たちも喜んで手伝ってくれていましたが、最近



北宇の「浦城」誕生から苦節20年講演会には鎌倉市から12名のお客様も参加（1月19日 八郎潟町はちパル）

ゲーム、ネットフリ、読書などをしながらのウォーキングです。普段は時速3〜4kmで、1時間もやれば体が温まり汗ばんで、それなりの運動になります。

す。スタンディングデスクがあれば仕事もできそうなので今購入を検討しているところ。このおかげか、冷え症で寒がりの私は毎年冬に体調を崩しがち

でしたが今年度は今のところ元気ですし、例年より薄着です。なかなか運動習慣が続かない方も、普段座ってしていることをながら運動[♪]にしてしまえば

気楽に継続できるのでおすすめです。次は同じ男鹿みなと市民病院で働く新入会員の加澤隆康先生にお願いします。よろしく。

ナイト キッツ

クリスマス補正

たむら船越クリニック (男鹿市)

田村 広美



午後の外来を副院長にお願いし、介護施設の往診を数か所こなした。その後、医師資

格証申請のための写真を撮りにいく。「あのー、パスポートサイズの写真が必要なのですが」「はい。では店内で少しお待ちください」

店の中をグルグル。4周目になろうとしたところで呼ばれ、カーテンの奥でさつき受付してくれた女性が撮影してくれた。必要な枚数を確認され、「美肌補正はどうされますか?」

「えっ?」
「美肌補正です。肌の色を少し明るくしたり、シミを目立たなくしたり:」

「はあ。皆さんやってるんですかね? おじいさんも?」
「そうですね。年齢関係なくやられる方はいらっしやいます。印象が少し変わりますからね」「ふーん。あー、今回はそ

のままがいいです」

カララジオがはしゃいでいる。今日はクリスマススイブだった。計120才超えの夫婦ではクリスマスが近づいてきていることにも気づいていない。あのアツシー君やメッシー君が活躍し、レストランの予約がとれず、オープンハートが売り切れていたころの熱気はもろんない(あの頃も僕にはそういう機会はなかったし、そもそも奥さんと結婚前にクリスマススイブを過ごしたことがない気がする)。

あるいは、クリスマスツリーをワイワイと飾り、さりげなく子供たちの願い事を聞き出し、何とか用意しようと奮闘し、イブの夜には悟られないようにしながら家の外や屋根の雪にサンタの足跡をつけ「あれ? 今何

か外で音がしなかった?」などと小芝居をして、「サンタさんかも!」と叫びながら走っていく子供たちを眺める、なんてこともない。そういえば、あのツリーはどこにしまったんだろう。

でも:よし:僕の中のクリスマススイッチが入った。デパート、ショッピングモールを回る。なかなか「これは」というサンタさんからのプレゼントは見つからない。3軒目のモールの本コーナーでクリスマスの絵本を見つけた。これにしよう。クリスマスカードも何枚か。次は、花。といっても、スーパードだけ。『〇とく』の中には花屋さんが入っていて面白い花が置いてある。並んでいるアレ

編集後記



行きつけのP床屋さんによれば秋田市内のK書店が閉鎖した理由の一つは万引き被害の頻発だったという。雑誌1冊盗まれると5冊売らないと損失補填できない。別の大学内書店の店主は若い先生方が本を買わなくなったとぼやく。書店、古書店、喫茶店が心のオアシスという時代は終わったか。ということと謹賀新年。今回も多数の玉稿に感謝▼巴年生まれ還暦3名による干支の所感。いきなりへ

ビが苦手という近藤克幸先生は院内をによる、副院長としてくねくねお励みである▼健康不安を抱える大腰先生は2代目愛犬と持ちつ持たれつ介護関係をきつとうまく築く▼当医師会入会4年前が人生の節目・還暦だったという成田先生、ご家族への感謝も期待も仕事も実にストレートなお人柄である▲文庫本を重宝する萱場先生は書店のポップにも目を向ける。新聞雑誌の評論より確実な「本屋大賞」の選考委員に推した▼座右のランボー詩集から、1冊の本には出版関係から書店に並

ぶまで大勢の人の思いが詰まっていると三浦先生は説く▼絶滅危惧種ヒトの子が脇本に5名、越川家の母親は書店で自由に泳がせ、父親は読み聞かせ。この5人が『丘の上の本屋さん』の著者のように「本に囲まれた家で私を育てた」と感謝する日が必ず来る▼同じく書店好きの渡部家の子供たち。本を選ぶこと自体に学びと自己表現があると久美子先生は乱読・積読のご夫君と見守る▼妹尾先生は世界中の書店で志の高い本を求めて来られた。真逆の編集子はパリのセーヌ河岸に並ぶブキニ



ハタハタの高値にびっくりする
門前のなまはげたち

ンジの中からクリスマスっぽい小さなやつ。これがいい。ついでに色とりどりのスイートピーも一束（うちの奥さんはスイートピー好きだしな。余談だけど、あの歌の頃には赤いスイートピーは市場に出回っていなかったらしい）。最後にコンビニに寄って骨付きの○○○チキを2つ、そして1個だけ残っていたブッシュ・ド・ノエル風の小さな

ケーキ、奥さん用に桃の味のほろ酔い缶酎ハイ1本。自分用の飲み物は、たくさん常備されているので買わなくて大丈夫。テーブル中央にアレンジを置き、仕掛け絵本のようにになっているクリスマスカードをいくつか立てる。ツリーやたくさんサンタがにぎやかだ。スイートピーをティーポットに突っ込んで戸棚の上に置く。桃酎ハイは冷蔵庫へ。どうせテイステイン

グラスに半分くらいしか飲まずに寝てしまい（うちの奥さんはほとんど飲めない）残りは僕が飲むだけけれど。「女房酔わせてどうするの？」というCMがあったけど、我が家の場合は2口飲んで、ソファアでうとうとしだすのが定番。あとは僕の一人酒盛り。何を飲もうかな。やっぱりスタートはスパークリングワインか。とっておきのグレンユーリーロイヤル1982

年開栓しちゃおうかな。それとも、残り僅かな1976年のグラスデューのボトルを開けてしまおうか。にまにましながら悩むのが楽しい。
乾杯の2時間後「美肌補正やってみればよかったのに」酔っぱらった声で奥さんが言った。
〈酔〉





友川カズキ・デビュー 50周年ライブのABS ニュース映像 (24年11月15日・秋田市キャットウオークにて編集子は久々に旧交を温めた)

スト(露店古本屋)で入手した妖しい浮世絵と淫らなヒンズー寺院壁画の写真集を日本の税関で危うく：▼書物の付まい、手触り、カバー、帯に、LPレコードと同じ価値があると齊藤崇先生は強調、人も見かけが大事とメラビアンの法則を持ち出す。医療人材教育に携わるお方らしい▲電車待ち読書で乗り遅れた育美先生も紙媒体の手触りにご執着。「ブックス ささき」の閉鎖年月をご記憶とはびっくり▼鈴木寿明先生の「書店という空間の一部になったような不思議な感覚」とは言いえて妙、立ち読みの極意だ▼肥田野先生の猛毒文は猛読書が原因、ルーツは

父上と判明。過去の名著を読み返す穏やかな日々も最後はやっぱり毒団子▲医療関係10大ニュースを語る会長と愛犬ケンシン君、今回は共に達者で何より▲忘年会恒例1人1言の内容は省かれたが、薬剤品薄、マイナ保険証と顔認証、電子カルテと電子処方箋など金のかかる医療DXに憤懣噴出。児玉亮先生がワンポで指摘した医科や歯科の医院閉鎖の噂も絶えない。DXは設備投資にもならず出費に苦しむ開業医とそんな苦勞を知らない勤務医を分断した。国は超特急デジタル号で我々をどこへ急がせるのか。もっと前に声を上げておくべきあとの祭りのお粗末▼小澤政豊先生は増え続ける透析と腎疾患、伊藤博彰先生は便秘と漢方について語って下さり、吉田賢志記者がまとめてくれた。皆さまとナイトキャップ酔に感謝▼亮先生は歯科医界と歯周病治療の現状を赤裸に報告してくれた。なまはげ写真にも感謝▼大窪先生はマイナやコロナ治療の矛盾、五城目の23年大洪水に対する行政の不作為を突き、返す刀で2月町長選挙にひと肌脱ぐ。頑張ろう！▼千夏先生は娘さんのおまけ旅行と謙遜するが、演奏会終了後も開いている

ウイーンのレストランでいい思いを：▼柴田先生のお節料理。お子さんたちはもう冷静になっているようで、真似ようと思う会員も稀少であろうが運動にも励もう！▼田沼時代を描くNHK大河ドラマ『べらぼう』で貸本屋は子供向けから春本まで揃えていた。『丘の上の』のキャブシヨン「持ち主が代わり新たな視線に触れるたびに本は力を得る」。『百年の孤独』



本年もよろしく (ジョンとチコ)

表紙説明

冬のモンスター

大日向かなえ

(千葉克介写真教室)

2022年1月に撮影した森吉山のスノーモンスター(樹氷)です。山形県の蔵王、青森県の八甲田と並び日本三大樹氷の一つに数えられています。例年1月〜3月上旬が見頃。この日の午前中は天気が悪く、諦めて早めにお昼ご飯

を食べている間にみるみる晴れ間が拡がり、午後は青空に映える真っ白なモンスターを拝むことができました。

森吉山の樹氷は、阿仁スキー場の山麓駅舎でゴンドラに乗り、20分揺られて山頂駅舎に着くと目の前に広がっています。そこから歩いて30分ほどで樹氷平を一周できますが寒さ対策は必要。意外と気軽に行ける冬のお勧め観光スポットです。

お便りは 〒018-11401

潟上市昭和久保字町後173-42

ハートインクリニック 佐々木 康雄

医師会メールアドレス info@oknmed.jp